



3月定例会のあらまし	2
3月補正予算の主なもの	3
一般質問	4
平成25年度予算・主な事業	8
予算特別委員会の質疑	10
平成25年第1回臨時会(新文化会館)	13
常任委員会報告	16
表紙写真の紹介	17
採決の結果一覧表	18
置広・置病議会報告	19
こうなってほしい南陽市	20

仲良し6人
きょうだいです



25年度予算決まる

市税・地方交付税減も現状維持予算
文化会館整備課設置、建設本格始動

3月 定例会

平成25年度一般会計予算の特徴

- 前年比0.2%減、現状維持型
- 施設に再生可能エネルギーを導入
- 防災減災対策を整備
- 6次産業化の支援で農業の活性化

3月定例会のあらまし

3月定例会が4日から21日まで、18日の会期で開催されました。新年度当初予算案はじめ35議案を慎重に審議しました。
一般質問は8名が行い、少子高齢社会を見据えた施策の提案などもあり、活発に議論を展開しました。

議案32件、 請願3件を審議

開会初日は推薦1件、承認1件、同意1件、条例14件、補正予算案6件、当初予算9件、請願3件、合計35議案を提案し、推薦・承認・同意案、補正予算は承認され、当初予算案、条例案等は常任委員会に付託しました。
補正予算については、事業の確定にともない1億3千万円余りを減額し、総額129億909万円余りとなりました。

一般質問に8名 将来を見据えた 施策の展開を議論

今回の一般質問は高橋一郎、白岩孝夫、高橋弘、白鳥雅巳、山口正雄、吉田美枝、片平志朗、佐藤明議員の8名でした。
各議員は、新文化会館建設、再生可能エネルギー、6次産業化、施政方針等について当局の考えや施策についていただきました。詳しくはインターネット録画中継で見られます。

常任委員会を開催 条例・請願を審査

6日に総務、7日に文教厚生、8日に産業建設の各常任委員会を開催し付託された議案を審査しました。
その審査内容と結果については、16く17頁に掲載していますので

ご覧下さい。

予算特別委員会 25年度予算 総額121億円

14日に予算特別委員会を開催し、新年度当初予算9件を審査しました。

一般会計予算総額は121億円で、市税や地方交付税等は減少となったものの、前年度の繰越金等で補い、前年比0.2%の微減となりました。

しかしながら、今年度は新文化会館建設の着工も予定されていることから、今後大幅な補正予算が組まれることが予想されます。(その後、29日に臨時会が開催されました。その内容は13く15頁をご覧ください。)

議会最終日 各常任委員長報告・ 意見書提出議案を審査

議会最終日には、各委員長の審査結果報告を行い、表決の結果、条例議案14件、当初予算案9件を可決しました。

また、総務・産業建設常任委員会に付託された請願3件については2件を採択、1件を継続審査としました。



宮内原橋の補修工事が完成

25年度予算 一般会計

121億円 地域活性化に重点



にぎわいと活力のあるまちづくりに向けて

昭和62年に建設された沖郷小学校低学年校舎は、男女が共同で使用しているトイレや、排水設備の不具合、地震による壁などの亀裂の拡大から、改修方法を検討してきました。

今回、国の経済対策の補正予算により、1・2階ごと男女別のトイレを設置し、洋式化及び設備改修等の改造工

災害時の避難場所である学校施設の非常時における最低限の電源を確保するため、市内小中学校のうち未整備

1500万円

自家発電機を小学校へ

115万円

事をを行います。工事期間は7〜10月となります。

その他の主な事業

☆医療費などの生活保護扶助費増額	1,480万円
☆消防団用ヘルメット購入	40万円
☆消防団の操法大会練習用ホース	67万円
☆消防団緊急伝達システムの発電機	43万円
☆小学校理科教材整備費	500万円

24年度補正予算

事業確定等により
1億3,174万円減額
 補正後の24年度
 一般会計予算総額は
129億909万円に

答 弁 要 旨

新文化会館は市民の意見を反映し 財政面で心配ないように

高橋 一郎 議員



◎アクセス道路整備は
どうする。

〈市長〉市道若狭郷屋
2号線（市役所から西
に抜ける）の予定事業
費は1億9500万円、
市役所北側1700万
円、南側も市道認定し
て整備したい。いずれ
も平成27年3月までに
供用開始したい。

◎市民懇話会の意見反
映はなるのか。

〈市長〉市民からの意
見公募や有識者会議を
開き基本構想・基本計
画を策定した。懇話会
の意見は十分に反映し
たと認識している。メ
インホールは千席超と
して800人規模の利
用にも配慮したい。

◎施設運営費用は。

〈市長〉維持経費とし
て6000万円、自主
文化事業等の事業経費
を含めて1億円程度。
南陽市のシンボルとし

てにぎわいを創出した
い。太陽光発電、LED
照明、バイオマスエ
ネルギー活用で経費圧
縮を考えて設計をする。

◎市民懇話会後の運営
組織はどうするのか。

〈市長〉新たな市民組
織を立ち上げる。大学
や短期大学等の連携と
人材活用は文化会館の
運営に携わっているア
ドバイザーをお願いし
て対応する予定。

◎日本初の先駆的木造
構造物ができれば、先
進地視察で本市への訪
問者が増える。それを
利用して施設と観光を
併せて案内する専門の
団体をつくることで雇
用創出にもなるのでは
ないか。

〈市長〉まちづくりの
観点から大変重要なこ
となので、今後専門職
員の配置などを含めて
検討していく。

公共施設マネジメント導入で 長期的に安定した財政運営を

白岩 孝夫 議員



◎南陽市の公共施設を
維持管理または更新す
るのに、いつどのくら
いの財政負担が必要な
のか、全体を見渡した
長期的な計画がない。
どう対処するか。

〈市長〉南陽市はまだ
社会資本の整備が足り
ない。ある程度のアバ
ウトな計画の中で適切
な補助メニューを常に
研究し、市にとって最
も有利な方法で社会資
本の整備を図っていく。
◎今、公共施設につい
て総合的に判断する部
署あるいは責任者がい
ない。まずは一元管理
できるデータが必要。
財政負担の平準化を図
るためにも、いつ何を
しなければいけないと
いう計画が必要。

〈市長〉3カ年計画や
10年間の総合計画で一
定程度のシミュレー
ションをして対応し、

その内容を判断しなが
ら今回の新文化会館に
取り組んでいる。なお、
事細かにいうと本当
にアバウトなものにな
ると思うが、それらも
これから進めながら、
より負担感のない財政
運営をしていきたいと
思っている。

◎第二次行財政改革終
了後の取り組みは。

〈企画財政課長〉結果
を踏まえて今後やりた
い。できれば今回の公
共施設の考え方も含め
ながらしていければと
思っている。

◎電力自由化で既存の
電力会社以外の会社と
契約する自治体が増加
している。電気料値上
げにどう対処するか。

〈企画財政課長〉市で
は1090万円程度値
上がりする。新たな電
気事業者も含めて総合
的に勘案し検討する。

平成25年度 施政方針を受けて



高橋 弘 議員

◎産業のまちづくりに
ついて。平成26年にJ
Rグループはじめ、全
国の旅行エージェン
トが誘客活動を行うデ
スティネーションキャン
ペーンの開催について
南陽市の取り組みは。

〈市長〉 県単独では、
10年ぶりの開催となり、
市としても特に力を入
れ、平成26年本番に向
けて観光素材の洗い出
しや、着地型旅行商品
の造成等の準備を進め
ている。

◎中心市街地活性化に
ついてどう考えるか。

〈市長〉 現在山形県が
進めている県道赤湯停
車場の整備事業と併
せ、赤湯温泉観光セン
ターを中心としたまち
づくりや宮内の門前町
としてのまちづくりを
継続して支援していく。
◎エコタウン構想につ
いてどう考えるか。

〈市長〉 本市では、森
林などの市内資源の有
効利用や、再生可能工
ネルギーの活用による
経済と環境が融合した
循環型のまちづくりを
新エコタウン構想と位
置づけている。

◎健康のまちづくりは。

〈市長〉 小中学生まで
入院費を無料としてき
たが、更に小学3年生
まで実質医療費の無料
化の準備を進め、調査
し判断する。

◎道路網の整備の進捗
状況はどうか。

〈市長〉 東日本高速道
路(株)が事業実施してい
る南陽上山間は平成30
年度開通予定。梨郷道
路は平成24年度に8億
円の国の予算が計上さ
れ、用地買収・詳細設
計が進められている。
補正でも15億6000
万円計上され事業の進
捗に期待している。



白鳥 雅巳 議員

南陽市の危機管理と 空き家対策は！

◎自然災害に対する備
えは。防災会議に女性
委員登用も必要では。

〈市長〉 各公民館や小
中学校に携帯用無線機
を配備し、非常用の通
信確保を行い、併せて
災害発生時に安全安心
確保のため、情報が市
民に伝達できる人的・
物的態勢を構築する。
また、防災会議への女
性の登用については、
今後検討する。

◎通学路の点検結果に
ついての対応や協議内
容、緊急点検対策箇所
図面の公表は。

〈教育長〉 安全対策が
必要な箇所は55箇所あ
り、19箇所については
今年度末で完了する。
また、新入生を含めた
児童生徒の安全確保は、
PTAや地域の協力で
安全点検を行う。
通学路の緊急点検対
策箇所は市のホーム

ページで公表している。
◎空き家対策について。
所有者が管理できずに、
隣家や公道などに直接
危険を及ぼす建物など
に対しては、強制的な
手法や制度・条例も必
要ではないか。

〈市長〉 やむを得ず市
として被害防止対策を
講ずる場合には、その
ルールづくりが必要なの
かも含め、今後調査・
研究をしていく。



赤湯小通学路 吉野橋

全国初の木造化新文化会館 安全面、価格面で大丈夫か？

市長－耐火建築基準など技術的課題クリア！ RC構造と同等のコスト水準で可能

山口
正雄
議員



◎耐火建築基準などの課題はクリアしたのか。

〈市長〉国土交通省の耐火建築基準などの諸法令や技術的課題については、主要構成部（柱・梁）を耐火の大臣認定を受けた部材を使用するなど、慎重に検討を行い、クリアできる見通しがあった。

◎積雪時に地震被害も想定されると思うが、積雪への対応は。

〈市長〉積もった雪は屋根で溶かすようにしたい。

◎鉄筋コンクリート（RC構造）との比較などを含めて、木造化の主な判断要因は何か。

〈市長〉法令に合致する構造計算や遮音性能は、RC構造と遜色がない数値を求めている。建設に係る経済性も、コスト比較に見合うよう基本設計を進めている。

る。加えて、木造のメリットとして、調湿作用。木の香り良く温かみのある良質な室内環境が保てる。加工しやすく保守や修理が比較的容易。音楽性能に優れ、地域材供給で林業活性化、雇用の創出・

経済の循環、更には、有利な補助金確保など総合的に判断した。

◎建設費は33億円で大丈夫ということか。

〈市長〉有利な補助金等を活用し、45億円程度を想定している。

◎地元材をどの程度使う見込みか。

〈市長〉6千〜9千mの杉を使う予定だ。

◎実質公債費比率の試算の中で、インフラの長寿命化費用は見込んでいたのか。

〈企画財政課長〉総体的に、年間3億円を見込んで試算している。

新規就農者支援と6次産業化への 取り組み支援はいかに

吉田
美枝
議員



◎農業後継者や新規就農者支援に対するこれまでの取り組みは。

〈市長〉農業振興協議会では担い手育成支援事業を展開、若者で組織する団体の育成や農村青年女性講座を開催。国の制度を活用し、農業事業を継承する青年就農者等に対し、年150万円、最長5年間の給付を実施。また、農地集約化を目的に農地の出し手に協力の交付や、認定農業者に対する好条件の補助制度活用も打ち出している。

◎農業の位置づけは。

〈市長〉「産業のまちづくり」を担う大きな柱として農業の振興を位置づけ、農業を魅力ある主たる産業に育成していきたい。

◎6次産業化に対する支援と、市の役割は。

〈市長〉6次産業は、

今後の農業経営にとって不可欠の取り組み。農産物の加工や農家レストラン等への取り組みが進んでいない本市では、農業者個々の取り組み案を具体化するため、研修会や相談会に積極的に参加してもらい、県事業を活用し、必要な施設・設備の設置や、ソフト面での支援を準備している。

6次産業化成功の鍵は、事業へ取り組む経営体の本気度である。市でも市内農産物の何をどのように加工して商品化するかなど、農家の方と共に勉強していく。販路拡大、市内外へのPRなど農林課及び商工観光ブランド課が連携し「最初から大規模でなくてよいこと」と「女性のアイデアの最大活用」を念頭に進展させていきたい。



片平 志朗 議員

高齢者の入浴死亡事故を防げ！ 再生可能エネルギーの取り組みを急げ

◎高齢者の入浴死は全国で年1万4000人にのぼり、交通事故死者をはるかに上回る。この痛ましい事故を防ぐには、医療・行政機関が連携をとり、防止策を講じなければならぬ。防止策をどのように考えているか。

〈市長〉入浴事故の予防啓発活動として、毎年冬に入る前に市報等でヒートショックの危険性のことや入浴時の注意点を啓発喚起している。また、高齢者を対象とした健康教室等を利用して、啓発活動を行っている。

◎再生可能エネルギーへの取り組みは、地球環境保全や温暖化防止に効果的であり、ひいては循環型社会形成に



ハイジアパークに設置された太陽光と風力発電設備

つながる。本市の木質バイオマスエネルギーの活用はどうなのか。

〈市長〉昨年度整備の吉野森林交流センターへ薪ストーブを設置している。また、新文化会館を始め、今後整備する公共建築物については、木材の積極利用を図るとともに、チップボイラーなどの木質バイオマス機器導入を最優先に検討していく。



佐藤 明 議員

一日も早く医療費(小学校3年まで) 無料化の実現を!!

◎施政方針では「子育て支援都市」として、医療福祉の充実を推進した施策である小学校3年生までの外来を含めた医療費を無料とする制度が、年度内にスタートさせるよう検討並びに準備を進めていきたいとあるが、具体的な時期はいつごろになるのか。

〈市長〉無料化を先に実施している市町では、実施にあたり相当の準備期間を要しているの、本市としてはなるべく早い時期にスタートを切れるよう努力していきたい。

◎私はこれまで医療費の無料化実現に向けて再三再四質問をしてきている。置賜地区内でも中学3年生まで実施している自治体はいくつかあるが、南陽市は遅れている現状にある。

一日も早く実現すべきではないか。

〈市長〉実施にあたりシステムの改修、保護者からの申請書の受付、医療証の発行等、また医師会や市内外の医療機関への周知など様々な業務もあるが、一日も早く実現に向けて努力していきたい。

◎福島第一原発の事故から既に2年が経過。原子力発電の危険性が日本国民の共通認識になる一方、電力会社や政府の電力不足キャンペーンから、いまだ原発が必要だとか再生可能エネルギーでは安定供給はできないという議論もあるが、自然エネルギーを利活用・導入の考えはあるのか。

〈市長〉地域特性に合致し継続利用できる再生可能エネルギー利用を推進する考えである。



空き建築物を再生・活用して地域活性化

老朽化した漆山公民館について、JA漆山支店を取得改修し、地域の生涯教育の拠点と

して、漆山地区ふれあい交流センター（漆山公民館）を整備します。1階を大ホールとし、急勾配の階段を緩やかな階段に改修します。玄関を正面に配置し、事務室を設置。トイレの数を増やし、倉庫を増築します。平成25年中にオープンする予定です。

漆山交流センターを整備

2103万円

25年度当初予算
121億円
ここに注目★

新文化会館関連予算

1,560万円

市役所南の新文化会館建設予定地で、4～8月にかけて埋蔵文化財の発掘調査を行います。（1,500万円）

また平成27年度開館に向け、記念式典及び運営計画等について、市民組織を立ち上げ、専門家の指導を得ながら検討を進めます。（60万円）



熊により果樹（ラ・フランス）枝が折られた

猿・熊・猪などによる農産物被害対策として、各種事業を行います。

サル・クマ・イノシシ対策

170万円

- 侵入防止柵等整備補助事業（50万円）
 - 電気柵等の設置に対して補助します。
 - 南奥羽広域対策協議会事業（70万円）
 - 猿を追い払うための活動に関する負担金。
 - 狩猟免許取得補助事業（50万円）
- 狩猟免許を取得する方に補助します。

防災行政無線購入

200万円

災害時に携帯電話が使用できない状況を踏まえ、情報収集を確実に図るため、電波の届かない地区を除いた以下の施設に業務用無線機を15台（移動局）購入し、通信体制を整備します。

- 赤湯・宮内・沖郷・漆山・梨郷の各小学校
- 赤湯・宮内・沖郷の各中学校
- 赤湯・宮内・沖郷・漆山・梨郷・金山・中央の各公民館
- 災害対策本部（基地局）

住宅購入建築を補助

4450万円

- 子育て応援定住交付金事業
 - 子育て世帯の定住化促進を目的に、市内に持家住宅の新築又は建売住宅を購入する場合、新たに転入される方に100万円を、Uターン又は市内貸家等居住で一定の申請要件を満たした方に50万円を補助します。
- 持家住宅建設助成金事業
 - 市内住宅関連企業等の景気浮揚対策と建主の工事費用負担軽減を目的に、市内の持家住宅新築や増築・リフォーム工事を実施する場合、工事内容に応じて工事費の10%又は5%（最高額20万円）を助成します。



備品整備で利便性向上

子育て支援センターに、室内遊具や室外備品を整備します。宮内乳幼児保育センターと赤湯ふたば保育

子育て支援センター遊具等整備

101万円

園にある子育て支援センターは、子育て中の家族同士が交流でき、育児に関する相談や講習会・情報提供などを行っている施設です。このたび、日除けテントやベンチなどの室外備品、キッチンやブロッコ等の室内遊具など、不足・老朽化している備品を整備します。

農業の6次産業化

120万円

農業従事者の高齢化などにより、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。これを何とか打開したいとの思いから、豊富な農産物を最大限に活かし、「付加価値づくり」を有効かつ重要と考え、農業所得額の向上を図るため、具体化に向けて講演会や研修会などを、昨年引き続き開催します。

向山野球場の電光掲示板改修

1,000万円

向山野球場の電光掲示板(スコアボード)は平成6年に設置し、これまで得点やチーム名等の表示器を現行のLED表示器に更新しました。今回は、表示器用の電源ユニット及び入力装置などの機器類の更新を中心に施設の改修を行い、設備環境の改善と利用者の利便性の向上を図ってまいります。

住宅用太陽光発電を補助

45万円

市では、住宅用太陽光発電システムの導入を促進するため、補助事業を創設します。平成25年度中に太陽光発電システムを設置する方に1kwあたり2万円、上限6万円の補助金を交付する予定です。交付の要件や受付期



間等については今後の市報でお知らせします。

その他の主な事業

☆市報印刷ページ増	780万円	☆枝折れ等雪害防止除雪	160万円
☆市ホームページのJIS対応等	114万円	☆商店街の街路灯整備補助等	528万円
☆消防団緊急伝達システム3基	420万円	☆企業立地促進奨励金	174万円
☆消防ポンプ庫新設等	345万円	☆ハイジアパーク指定管理料	2,400万円
☆消防耐震性貯水槽2基新設	1,400万円	☆花公園広場の照明灯設置等	1,000万円
☆未熟児療育医療給付	112万円	☆木造住宅耐震化促進事業	450万円
☆市内さくらんぼ園整備補助	1,000万円	☆他地域青少年との交流促進	240万円

24年度 補正予算の質疑

予算特別 委員会

高橋 一郎 議員

自主防災育成事業 の充実を

◎自主防災組織育成事業を200万円減額したのはなぜか。

〈危機管理課長〉 県の宝くじ助成事業に申請したが該当にならなかった。市単独としては取り組んでいる。

◎自主防災組織の充実に向けて今後とも取り組みの強化を要望する。

板垣 致江子 議員

若い人が定住する 施策を積極的に

◎子育て定住化補助金の本年度件数は。

〈建設課長〉 今年度4件、昨年度12件が確定。なお、25年度は10件の問合せがある。

◎もらえると思ったが受けられなかった人も

いる。受けやすい制度に見直せないか。

〈建設課長〉 25年度は本事業の3年間の最終年度なので、総括をして見直し検討していく。

白鳥 雅巳 議員

全学校に防災対策 として自家発電機 の備えを

◎自家発電機の能力と災害時の主な用途は。

〈管理課長〉 2.4kwの発電機を5台購入し、全学校に設置。用途は主に、照明や通信・排水ポンプ等に使用する。



左が自家発電機

25年度 一般会計予算の質疑

予算特別 委員会

佐藤 明 議員

25年度予算編成で 市長の決意は

◎国の予算を受けて、市民の暮らしを守る立場から市長の考えを。

〈市長〉 第5次総合計画に基づいて教育・産業・健康のまちづくりの前進に全精力を傾けていく。市民一人ひとりの所得向上と青少年育成の知・徳・体のバランスのとれた予算配分を行った。

震災等緊急雇用の 額と雇用の見 込みは

◎震災等緊急雇用対応、重点分野雇用創出事業の総額はいくらか。雇用は何人を見込んでいるのか。

〈商工観光ブランド課長〉 震災等緊急雇用対応は6958万円で28

名、重点分野雇用創出事業は4957万円で25名の新規雇用を見込んでいる。

山形鉄道の経営状況 について

◎山形鉄道の経営状況はどのようになっていくのか。

〈企画財政課長〉 沿線市町の少子化もあり経営は厳しい状況にある。◎国の大型補正の補助を受けられないのか。

〈企画財政課長〉 総務省で運営費も出す動きがあり調査中。

◎沿線自治体と県と協議して進めているか。〈企画財政課長〉 大型補正の関連で手を挙げ、整備計画が今年度認められた。



市営関口住宅の建て替えは

◎市営関口住宅の老朽化が進んでいる状況を市長はどう考えているのか。

〈市長〉 財源の目途がつけば3カ年計画に沿って進めたい。場所は宮内地区で近いところにした。



市営関口住宅

休校になる小滝小の利活用は

◎小滝小、荻小の統合により、小滝小の施設利活用の方針は。



利活用がのぞまれる旧小滝小

〈学校教育課長〉 探鳥研究、食育教育などの活動や地域行事を取り入れ活用していきたい。

高橋 篤 議員

被災地への職員派遣の状況は

◎被災市町への職員派遣の県内及び南陽市の状況は。

〈総務課長〉 本市は25年1月から3月に1名を仙台市役所に、県内

13市のうち8市から11名派遣している。25年度は4月から1年間1名を仙台市役所に派遣の予定。

被災市町と友好都市を結ぶ考えは

◎友好都市を結べば、交流だけでなく災害時なども支援できるが、その考えはないか。

〈市長〉 友好都市の必要性は感じているがさまざまなつながりや因果関係も必要であり、現在はその状況にない。

◎人的・物的な相互支援の観点からも早い時期の締結を要望する。

高橋 弘 議員

太陽光発電を利用した収入確保

◎太陽光発電の売電収入はこれから増えているのか。本市の施設に

太陽光発電の計画は。

〈企画財政課長〉 売電価格のアップがなければ現状維持。新しく整備する施設は一部消費するだけで余剰電力の売電まではいたらない。



木質バイオマス発電設備やまがたグリーンパワー(村山市)

〈企画財政課長〉 収入はある一定の金額で推移しているが、支出は増加した場合に備えて予算計上している。

介護扶助費の突出はなぜか

◎扶助費の中で、介護扶助費が2.5倍という突出要因は何か。

〈福祉課長〉 介護が必要な高齢者が増えているため。

元気のでるまちづくり交付金の財源は

◎元気のでるまちづくり交付金の財源となっている基金はあるのか。

〈市民課長〉 基金は2600万円程度ある。

現在は、一般財源を充当し500万円を予算計上している。

◎500万円は今後も継続するのか。

〈市民課長〉 状況を踏

まえて検討したい。

白岩 孝夫 議員

南陽市のホームペー ジの更新の内容

◎どのようなホームページにするのか。特に子育て、教育については各課横断して一覧できるようにしてほしい。

〈企画財政課長〉 JIS規格に準じ、25年3月の年度末に見られるよう各課で進めている。

山口 正雄 議員

南陽産果物に統一 デザインシールを

◎南陽産果物に統一したデザインのシールを貼り、ブランド発信していく提案に対して検討と予算計上はいかに。

〈商工観光ブランド課長〉 統一デザインの取

り組みは進んでいない。試みとして、米に付加価値をつける意味で、市長の似顔絵をシール化して取り組み好評だ。

◎試みを拡大して行くことで、品質向上、ネームバリューアップにつながる。統一シールの実施を強く要望する。



南陽産果物

吉田 美枝 議員

市営住宅の長寿命化の味は

◎市営住宅の長寿命化400万円の内容は。

〈建設課長〉市営桜木住宅の構造の現状把握、補修箇所を明らかにし、年次計画を立て進めていく内容。

片平 志朗 議員

大野平キャンプ場の運営と活性化策は

◎キャンプ場はいつから運営し、年間利用者数の推移は。管理者が高齢であり、今後の運営をどう考えているか。

〈スポーツ文化課長〉

昭和58年4月から運営し、年間利用者は1500人前後で推移している。また、管理については今後、現管理者と協議をしながら検討していく。

高橋 一郎 議員

地方給与削減は地方交付税法違反ではないか

◎地方公務員の給与削減に対して市長は地方交付税法第17条の4による総務大臣に申し出

はしないのか。

〈市長〉市長会でも異議を唱えているし、他の市長と歩調を合わせて取り組んでいく。南陽市長として独自の取り組みは得策ではない。

グラウンド使用の市外利用者は有料にすべきでは

◎向山グラウンドや梨郷の総合運動公園などの市外利用者は使用料を徴収すべきではないか。

〈スポーツ文化課長〉

関係課を含めて見直し検討していく。

観光看板や誘導看板の見直しを

◎川樋のハイジアパーク看板の右端が折れている。国道13号・113号から市内に入る場所に

ハイジアパークや市民体育館へ誘導する標識がないので見直しを。

〈商工観光ブランド課長〉

新年度でハイジアパークと一緒に検討していきたい。



市外利用者も無料の向山野球場

スカイパークのPRと利用促進

◎JRのデスティネーションキャンペーン時に積極的なPRを。指定管理料は冬場もしているのだから増額を。

〈商工観光ブランド課長〉

PRはしていく。スカイパークは利用料の中に指定管理料も入っているのご理解を。

白竜湖の整備を積極的に

◎南陽市の顔でもある白竜湖の整備を積極的にすべきでは。

〈市長〉

県指定の公園でもあるので何ができるかを検討していく。

市立保育所・幼稚園の冷房設備

◎こぼと保育園、赤湯幼稚園の職員室等に冷房設備を設置すべき。

〈管理課長〉赤湯幼稚園は前向きに検討していく。

〈福祉課長〉こぼと保育園は年次計画で入れていく。25年度は30万円の予算。

元気老人プロジェクト(仮称)で医療費削減を

◎国保医療の療養費を削減するために全庁あげてプロジェクトとして取り組むべきでは。

〈市長〉

第5次総合計画でも健康を柱にして取り組んでいる。薬をジェネリックにする、医院がサロンにならないようにするなどの取り組みも必要。体育館でも健康プログラムを立てて実践している。



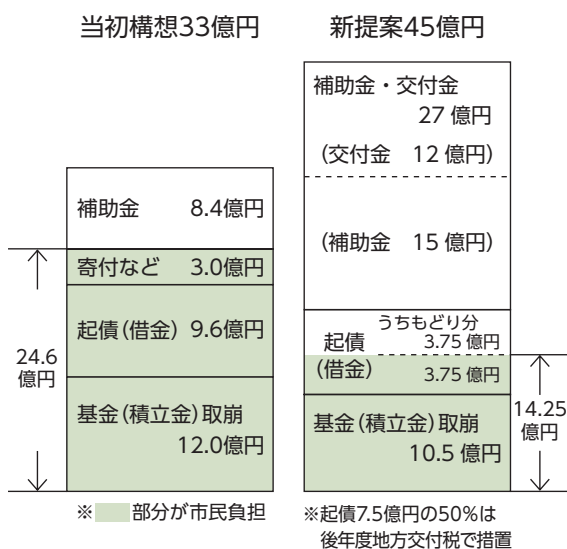
新文化会館45億円

あいつぐ質問を経て可決！

市民負担額10億3,500万円減少

25年第1回
臨時会

当初構想時と新提案の予算対比



24年度補正予算

☆新文化会館整備事業費 16億円
 ☆道路新設改良事業費 2億2,200万円
 ☆橋梁補修事業費 6,100万円
 ☆小学校整備事業費 800万円
 合計 18億9,100万円

※道路新設事業路線は次のとおり

- ① 若狭郷屋2号線
- ② 旭町高梨線
- ③ 三間通宮内駅線外

25年度補正予算

☆新文化会館整備事業費 27億円

あらまし

平成25年度第1回臨時会が3月29日に開催され、24年度及び25年度補正予算案2件について審議し、白熱した議論の末、原案通り可決しました。

当初33億円から木造45

億円に変わったことを

市民の大半は知らない

高橋 一郎 議員

◎市民への説明がないまま木造に、しかも12億円増えている。有利な補助金や起債を活用するためとはいえ、トップダウン型の手法で市民不在ではないか。〈市長〉防災施設としての機能を持たせて、人にやさしい木造建築物にしたいという思いがあった。必要な強度設計を保つことや補助制度の複雑なからみのなかで増額となった。当初から33億円は最低限と説明してきたし、有利な補助制度があれば状況が変わることを前提として取り組んできた。市民への説明は、いねいに真摯に行っていく。

佐藤 明 議員

◎45億円という金額と

構想等について市民懇

話会に説明したのか。

〈政策主幹〉1月に懇

話を開催した時は、まだ大枠でもはつきり決まっていなかった。金額的な提示はしていない。29日夜開催の懇話会で説明をさせていた。議会にも懇話会等々にも、新メニューになったことを提示するのが遅いのではないか。〈市長〉可能な限り、一番早いのが今日だった。議会の皆さんに一番最初にご報告をしてこれから市民の皆さんにもお願ひする。

高橋 一郎 議員

◎いつの時点で木造に構想を転換したのか。木質バイオマスボイラーの事業費は。

〈市長〉当初から森林・

林業界の再生を考えて

いた。3000mを超

える木造集会所での

建築基準法をクリアし、

建築が可能になった今

年1月から一気に進ん

だ。木質バイオマスボ

イラー関連は付帯込で

4〜5億円。

事業費が12億円増えたのに、市民負担が10億円軽減される確証は

高橋 一郎 議員

◎収入となる補助金15億円、元金交付金12億円、補正の起債7億5000万円は確証あるのか。補正債のうちの半額3億7500万円が償還時に交付税としてもどる根拠は。〈市長〉国の補助金等は確約ができたから本日はあるし、補正債に關しても総務省の確認を得て提案している。

維持管理費の年間1億円は 財政を圧迫しないのか 市民懇話会の意見を反映しているのか

大規模でなくて良いと言う市民懇話会の意見を反映していないのではないかと

片平 志朗 議員

◎客席数は最大800から1300、マルチホールも250から500席と増えているが必要以上ではないのか。

〈市長〉 使い勝手のいいものにグレードアップをして、市民懇話会の皆さん方の意見をむしろ反映した。起債限度額に配慮して小規模の提案をしていたが、より市民の期待に応えることができる内容に修正した。

市民は建てた後の維持費も心配 財政は本当に大丈夫なのか

白岩 孝夫 議員

◎事業費が33億円から45億円になり、ランニ

ングコストはどうなるか。

〈政策主幹〉 維持補修費6000万円、文化事業費4000万円、合わせて1億円としていたが、再生可能エネルギー等を十分取り入れ、維持費は従来の説明の線で確保できる対応を探っている。

◎実質公債費比率や将来負担比率の財政指標の変化は。

〈企画財政課長〉 9億6000万円と想定していた起債が7億5000万円に減り、基金からの取り崩しも減る。新たな数字では、実質公債費比率は18%を超えない運営も可能ではないかと試算している。

片平 志朗 議員

◎維持管理運営には市民の協力を得なければならぬ。主権は市民で市民の税金を使って

いる。市民の理解を得られるのか。

〈市長〉 単に経済対策だけでつくるのではなく、教育あるいは本物の文化に触れる感覚など、必ずしも損得勘定だけではない。むしろ学校と同じように教育施設だから少しは金がかかっても仕方がないという観点で進んでいかなければならない。運営はできるだけ負担のかからぬように、かつランニングコストも従来と変わらないように研究していく。

◎少子高齢社会になり財政規模が縮小し、文化会館ばかりでなくインフラの維持整備に莫大な金がかかる。医療費も増えていくことなどを考えれば規模は今までどおりで良いのではないかと。

〈市長〉 これで社会資

本の整備は終わりだというような発想では一層人口減少に拍車がかかる。それを少しでも抑えるために様々な整備をしている。過ごしてみたい、暮らしてみたい南陽市にしていきたい。心配ばかりしては先に進めない。必ず南陽市にとって将来誇れるものと思っている。

現市民会館の取り壊しや老朽化した宮内公民館の建設は

高橋 一郎 議員

◎現市民会館の取り壊し時期は。跡地利用が建物とすれば木造か。市民は近いところの公民館での社会活動が原点だ。宮内公民館は古くて使用に耐えない。年次計画を示せないか。

〈市長〉 現市民会館は新施設の建設で使用を

停止し、平成28年度で解体の予定。跡地利用計画はまだだが建物であれば木造でほしい。宮内公民館は耐震上抵触しないので、今の段階ではもうしばらく時間がかかると思っている。有利な補助があれば前倒しもありうる。



築45年経過の現市民会館

木質バイオマスエネルギーの 地産地消は可能か アクセス道路や駐車場は足りるのか

本館の暖冷房は地元のチップを100%利用した木質バイオマスボイラーで

松山 利美 議員

◎6000㎡の新文化会館の冷暖房空調を木質バイオマスボイラーで賄うとすれば、年間450トンの燃料が必要になる計算だ(岡山県真庭市を参考)。ボイラーは何基か。冬期間も含めて地元のチップを確保できるのか。

〈市長〉木質バイオマスボイラーは大小2基。この施設は一日全館フルに使ってもチップは6トぐらい。逆にもっと多くの需要を安定して確保できる仕組みがないとチップ工場の経営は成り立たない。さらに量を増やすにはチップになる材料として間伐材、果樹の剪定

枝、古材も視野に入れて考えている。色々な意味で環境整備に繋がっていくし、森林の再生整備には大きな貢献を果たすことになると思っている。

木質バイオマスエネルギーを活用した市長の構想はあるのか

高橋 一郎 議員

◎川上から川下が一体となった構想とはいかなるものなのか。

〈市長〉この施設は地元の木を使用し、伐採する条件は必ず植林を行うこと。川下で言えば木材需要を増やすこと。今回の施設建設が木材利用の大きな起爆剤になる。チップボイラーを設置し、間伐材利用で山の手入れにもなる。さらに、燃えやすい木造建築物を研究する基地をつくっていく



市内の杉林

ことも考えている。

伐採して水害の心配はないのか 植林はいつ誰が行うのか

高橋 一郎 議員

◎伐採による水害の危険はないのか。植林は行政ベースで行うのか。

〈市長〉土砂崩れや水害の誘因になる急斜面のところは伐採しない。できれば無花粉・少量花粉スギなどを可能な限り使用したい。植林

には国県の補助もでるし、差額は市独自予算でサポートしたい。

混雑と渋滞の防止にアクセス道路の整備を

駐車場は不足しないか

高橋 一郎 議員

◎一般質問でも発言しているが、国道113号と県道赤湯宮内線を結ぶ道路とフラワー長井線を跨いで行き来できるようなアクセス道路がないと袋小路の中の施設となる。また、駐車場は不足しないか。特に工事中の対策は。

〈市長〉アクセス

スはそうしたいと思っているのと建設課に検討を指示した。近いうちに計画を公表できる。工事中は庁舎南の駐車場を使用できないので北側

と周辺の土地をお借りしたい。職員はフラワー長井線東側も考えている。

運営していくための組織づくりはいかにして

行うのか

高橋 一郎 議員

◎稼働率のよい魚沼市小出郷文化会館を参考にすれば運営母体の醸成は不可欠だ。

〈市長〉新設する文化会館整備課に専門員を配置しプロジェクトチームをつくって積極的に対応していきたい。



南陽市役所駅東側にある市有地

審査報告

「文化会館整備課」 を新たに設置

総務 常任委員会

◆南陽市課設置
条例の一部改正
を可決

文化会館の整備を推進するため、新たに「文化会館整備課」を設置するもので、総務部門の位置づけである。

◆南陽市職員互助共済制度に関する条例の一部改正を可決

名称を本年4月1日付けで「一般社団法人山形県市町村職員互助会」に改正するもの。

◆南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正を可決

平成18年人事院勧告を受け、4年間昇給抑制を受けた職員で、37歳の職員は1号級、37歳未満の職員は2号級昇給回復するもの。

◆南陽市赤湯財産区温



新文化会館の完成予想図

泉条例の一部改正可決

内湯旅館営業者の温泉供給量変更のため。

◆請願「地方公務員給与に係る地方交付税の削減措置の撤回について」は継続審査

請願の趣旨は理解でき、地方6団体の共同声明で、国と地方の協議の場等において協議することを求めており、その推移を見守るべきであるとした。

(委員長 吉田 美枝)

審査報告

地方への権限移譲条例の制定

文教厚生 常任委員会

◆障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の制定を可決

今までの「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改正されるため、名称の変更を行うもの。

◆南陽市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定を可決

地域主権一括法の施行に伴い、介護保険法が一部改正され、これまで国が定めていた基準を市が条例で定めることとなったもの。

◆南陽市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びにサービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定を可決

前項同様、市の条例で定めるもの。

◆南陽市特別会計条例の一部を改正する条例の制定を可決

出産祝事業が平成24年12月で終了したことから、この特別会計を廃止するもの。

《委員からの意見》

地域主権一括法により、国から地方に権限が移譲されることは、各自自治体の判断や方向性が今まで以上に問われることになるので、しっかり対応して欲しい。

(委員長 高橋 弘)



市内の特別養護老人ホーム

*これまで国が決めていた各種基準を市が独自に決められることができるよう、関係する多くの法律を一括して改正したもの。

TPP反対意見書提出と 市農業振興対策の請願2件を採択

国の法律が改正されたことや、地域主権一括法が施行され、国が定めていた基準を市が条例で定めることにより、以下の条例を改正新設した。

- ◆**条例を一部改正**
 - 南陽市簡易水道事業設置条例
 - 南陽市営住宅条例
 - 南陽市都市公園条例
- ◆**条例を新たに設定**
 - 南陽市市道の構造の技術的基準等を定める条例
 - 南陽市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
 - 南陽市水道の敷設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例
 - 南陽市公共下水道の構造の技術上の基準並びに都市下水路の

構造及び維持管理の技術上の基準に関する条例

◆**主な質疑内容**

当局より、市道の案内標識・警戒標識は県の規定を準用し、市の独自の基準として標識の文字を大きくしたとの説明があった。

委員からは「大きくした場合、費用負担はどうなるのか」との質問が出され、当局から新たに予算が拡大するものではないとの説明を受けた。

また、当局より市営住宅の整備基準、入居者資格要件の収入基準、低額所得者の上限額について、いずれもこれまで通りの基準額を維持継続するとの説明があった。

委員からは「収入基準の考え方は」などの質問が出され、当局か

ら説明を受けた。

上記いずれの議案も審査の結果、全会一致で可決した。

◆**TPP交渉参加反対に関する請願を採択**

TPPへの交渉参加に向けた取り組みを断念するよう、国に対し意見書提出を求めるもの。

委員から「本市は地域産業として農業収入への依存度も高い。TPPへの交渉参加によつて農業生産物に大きな打撃があれば地方経済への影響が甚大である」TPPは農産物が強調されているが医療や保険など農業だけでなく、あらゆる分野に影響を与える「国民的議論がまだまだ不足しているのではないか」等の意見が出され、全会一致で採択した。

◆**南陽市農業振興対策に関する請願を採択**

重点作物の生産振興及び加温栽培作物燃料高騰の支援を市に求めるもの。

委員から「アベノミクスと呼ばれるデフレ対策により、円安でA重油、灯油などの価格が上昇し、生産経費、コストが上がっている。このような現状の中で加温栽培を推進するためには、国県で補填できない部分は、市としても何らかの形で支援する必要があるのではないか」市のブランド戦略の中で加温栽培作物の出荷・販売は、南陽ブランドを高める一つの手法であり、守っていかなければならない」等の意見が出され、全会一致で採択した。

(委員長 白鳥 雅巳)

表紙の写真

仲良し6人
きょうだいです

長男 陣くん(小2)
次男 蓮くん(小1)
三男 剣くん(年中)
長女 綾ちゃん(1歳)
四男 撰くん(4カ月)
五男 弾くん(4カ月)

4月から職場復帰するママと共に双子ちゃんも院内保育所に入ることになり、有野家全員が巣立ちの春を迎えた。

育児と仕事の両立に戸惑いを隠せないママにとつて、育メソッドと市内に住むジイジ・バアバの協力は絶大である。

少子化が進む南陽市にとつて、まさしく地域の大きな宝である。『南陽市みんなが子育て応援団』子ども達の健やかな成長を、みんなであたたかく見守っていきたいものです。

議案採決結果表

議案番号	議案名等	採決結果
推薦第1号	南陽市農業委員会の委員の推薦	推薦
承第1号	平成24年度一般会計補正予算（第5号）についての専決処分の承認を求めること	承認
同意第1号	南陽市宮内財産区管理委員の選任	同意
議第1号	平成24年南陽市一般会計補正予算（第6号）	可決
議第2号	平成24年南陽市国民健康保険特別一般会計補正予算（第4号）	可決
議第3号	平成24年南陽市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議第4号	平成24年南陽市出産祝事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第5号	平成24年南陽市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議第6号	平成24年南陽市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議第7号	平成25年南陽市一般会計予算	賛成多数可決 ※
議第8号	平成25年南陽市国民健康保険特別一般会計予算	可決
議第9号	平成25年南陽市財産区特別会計予算	可決
議第10号	平成25年南陽市小滝簡易水道事業特別会計予算	可決
議第11号	平成25年南陽市育英事業特別会計予算	可決
議第12号	平成25年南陽市介護保険特別会計予算	可決
議第13号	平成25年南陽市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議第14号	平成25年南陽市水道事業会計予算	可決
議第15号	平成25年南陽市下水道事業会計予算	可決
議第16号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例整理に関する条例の設定	可決
議第17号	南陽市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	可決
議第18号	南陽市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の設定	可決
議第19号	南陽市市道の構造の技術的基準を定める条例の設定	可決
議第20号	南陽市準用河川に係る河川管理施設等の技術的基準を定める条例の設定	可決
議第21号	南陽市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の設定	可決
議第22号	南陽市公共下水道の構造の技術上の基準並びに都市下水路の構造及び維持管理の技術的基準を定める条例の設定	可決
議第23号	南陽市課設置条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第24号	南陽市職員相互共済会制度に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第25号	南陽市一般職員の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第26号	南陽市特別会計条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第27号	南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第28号	南陽市営住宅条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第29号	南陽市都市公園条例の一部を改正する条例の制定	可決
請願第1号	TPP交渉参加反対に関する件	採択
請願第2号	南陽市農業振興対策に関する請願	採択
請願第3号	地方公務員給与費に係る地方交付税の削減措置の撤回	継続審査

※ 議案に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの）

議案	議席番号 氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17
		白岩孝夫	高橋一郎	船山利美	山口正雄	白鳥雅巳	片平志朗	吉田美枝	梅川信治	川合猛	高橋弘	板垣致江子	高橋篤	田中貞一	佐藤明	伊藤俊美	殿岡和郎
議第7号	平成25年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

議会報告

置賜広域行政事務組合議会

2月22日定例会が開催され、10議案が審議可決されました。そのうち主なものを報告します。

◎平成25年一般会計予算

45億3361万円
(前年度比18%増)

◎平成25年広域消防特別会計予算

25億6783万円
(前年度比42.2%増)

消防救急無線デジタル化整備事業や消防10力年整備事業が始まることから大幅な増となりました。

◎ふるさと市町村圏基本構想を議会の決議事項とする条例の制定

今までの「ふるさと市町村圏計画」が24年

度で終了することから、新たに向こう10年間の第5次計画を策定するため議会で決議することの条例の制定です。

◎第5次ふるさと市町村圏基本構想について

平成25年～34年までの10年間にわたる置賜広域市町村圏が目指す将来像を定め、これを実現するため、多方面にわたる広域行政施策が盛り込まれているのです。

現在、広域で取り組んでいる主な事業は次のとおりです。運営費は県、各市町村が出資した10億円の運用益でまかなわれています。

○広域連携事業

「置賜八食祭」

○婚活推進事業

「おきたまLOVEワゴン」

○広域連携を担う

人材育成事業

(置広議員 片平 志朗)



置賜八食祭 (松川河川敷)

議会報告

置賜広域病院組合議会

置賜広域病院組合議会の2月定例会は2月8日午前10時より南陽市議会議場で開催されました。3議案とも原案とおりに可決されました。

◎平成24年度置賜広域病院組合病院事業会計補正予算(第2号)

4月からの患者動向、予算の執行状況、今後の見込みを踏まえ、業務予定量等を補正し、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出の額を決定するものです。

◎平成25年度置賜広域病院組合病院事業会計予算

平成24年度の実績を基本としながら第2次病院改革プランの趣旨



置賜病院の医療機器

を踏まえ、年間延べ入院患者数・年間延べ外来患者数を見込み、収益的収入及び支出、また、資本的収入及び支出の総額をそれぞれ計上するものです。

◎置賜広域病院組合職員勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

白血病等の有効な治療法である移植療法のドナーとなる場合に取得可能な特別休暇について、骨髄を提供する場合に加え、末梢血幹細胞を提供する場合にも休暇を取得できるようにするため、所要の改正を行うものです。

(置病議員 殿岡 和郎)

こうなあってほしい南陽市

どんなときでも助け合って 生活していける安心社会を

南陽市 佐藤・東海林・高橋

生活が苦しい一人暮らしのお年寄りや障がいのある方への雪おろし有償ボランティアを始めた独身青年3人にインタビュー。本音で面白い語ってくれました。会話のため文脈のつながりはありません。3人ともとても恥ずかしがり屋なので苗字だけにすることで協力を得ました。



- お金もらってボランティアっておかしくないんだがえ。
- 相場の料金に見合わなければボランティアアって言ってもいいんじゃないねえがえ。
- 頼む方も無料だと気の毒がるし、長続きしねがも。
- 無償のボランティアしたいけど、生活安定してねど正直言って続かねえべ。
- ボランティアしてる人に市から支援ないんだべが。アルミのスコップなんかすぐぼつこれるし、スノーダンブもガダくる。
- お金もなくて、身内もいなくて、雪下ろしに困っている人はまだまだいるなあ。
- ボランティアする人増やさねどおっつがなくなる。
- 雪下ろしだけでなくて買物や病院になかなか行けないお年寄りもいるなあ。
- 雪下ろしは、隣組や親戚縁者が無償で助け合う、業者に頼む、有償ボランティアの3通りを組み合わせれば高齢者が屋根にあがって負傷・死亡することもなくなると思えました。



編集後記

暖かな日差しが降り注ぎ、春の足音が大きく聴こえてきます。つい先日まで北へ向かう白鳥たちが、長旅前に田んぼで落ち穂をついばみ、騒がしくにぎやかに談笑していました。白鳥の旅立ちを見送るように木々の新芽も顔を出し、私たちの心をも目覚めさせてくれるような爽やかな風、この何気ない自然の営みを永遠に守っていきたいものです。

今回は3月定例会の「議会だよりNo.127」とともに、今、市民最大の関心事といっても過言ではない「新文化会館」建設に関する補正予算審議の臨時議会が開催されましたので合わせて掲載します。

年度末・年度始めは全議員が各地区の卒園・卒業式、入園・入学式に出席させていただき、更に人事異動など「別れ」「新たな出会い」をそれぞれに胸に留め、いつもながら感慨深いものを感じます。

新年度は新たな気持ちで議会報を進化させたいと思います。

編集委員長 片平志朗
副委員長 山口正雄
委員 白岩孝夫
高橋一郎
船山利美
吉田美枝



吉田美枝